



雪学習 指導案 [外国語]

雪学習とは、「雪」を楽しんだり（親雪）、「雪」を克服したりする活動を通じて、冬の暮らしに関心を持ち、除雪に対する意識が浸透することを目指した学習です。

■実施校 北海道教育大学附属札幌小学校 ■実施学級 6年2組

■実施日 2021年2月2日（火）5校時 ■指導者 西本 有希

■科目/単元名 外国語 「雪遊びを楽しもう」

～オリジナル絵本“Snow Snow Snow”で読み聞かせ会をしよう [4時間扱い]

単元のねらい

- 1年生への読み聞かせをするために、“Snow Snow Snow”の英語の本を読むことができる。
- “Snow Snow Snow”を参考にして、雪遊びについてのオリジナル絵本を作り、自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、好きな雪遊びについて伝え合うことができる。
（“Snow Snow Snow”を参考にして、好きな雪遊びについて書くことができる。）

教材化のポイント

【視点1】英語の絵本の活用とオリジナル絵本の作成

本単元では、“Snow Snow Snow”という英語の絵本を活用する。この絵本を参考に、オリジナル絵本を作ることにした。自分自身が絵本の内容を追体験する場をもつことで、“Snow Snow Snow”のという英語の絵本を意欲的に読む活動を構成する。

【視点2】学活等との連携

単元構成に関して、学活等と連携して、“Snow Snow Snow”とオリジナル絵本“Snow Snow Snow”を1年生へ読み聞かせをするという場を設定した。

教師のかかわりのポイント

1. 目的意識の醸成

今回は英語の絵本を読む活動にとどまらず、オリジナル絵本を作成し、1年生へ読み聞かせをする場面を設定した。1年生が楽しく絵本の世界に浸るにはどのようなことが必要かを考えさせながら、英語を読み進めていけるよう関わっていく。

2. 雪を楽しむ子どもを育むために

“Snow Snow Snow”という英語の絵本を参考に、オリジナル絵本を作成する。雪遊びは楽しいという絵本の内容を受け、オリジナル絵本製作を通して、自分たちの雪遊びの楽しさ、雪遊びに関する英語表現をさらに広げてほしいと考える。

本時の目標と学習活動

●本時の目標

1年生に英語の絵本の読み聞かせをするという目的をもって、“Snow Snow Snow”の英語表現の意味を分かってもらう。また、“Snow Snow Snow”を参考に自分のオリジナル絵本に必要な英語表現を考えようとする。

●本時の展開 (1/4)

主な学習活動	教師の関わり
<ul style="list-style-type: none"> ■ これまでの雪遊びの体験についての意見交換をする。 ■ 教師から“Snow Snow Snow”を読み聞かせを聞く。その後、教師からのオリジナル絵本“Snow Snow Snow”の読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>“Snow Snow Snow”のお話がだいたいわかったよ。</p> </div> <p>自分たちのオリジナル絵本“Snow Snow Snow”もできそうだ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オリジナル絵本“Snow Snow Snow”の発表の場として、1年生への読み聞かせするという目的意識をもつ。 ・もう1度自分たちで“Snow Snow Snow”を読んでみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>オリジナル絵本にはどんな雪遊びの英語を入れようかな？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>絵本の中にある、“Let’s jump.”を入れてみよう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>絵本の中にあつた、雪山を滑る時の「スィー」「Woosh」も使ってみたいね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「雪だるまを作ろう」“Let’s make a snowman.”を使おう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「ふわふわ雪」“fluffy snow”も使ってみたいな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「雪合戦は何て言うのかな？」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>“I did it!”なども使えるね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>“I like ~.”なども使おう。</p> </div>	<p>○絵本の英語表現については、内容が理解できるよう、授業等の機会を生かして、音声で十分に慣れ親しんでおく。</p> <p>○「スィー」「Woosh」等の擬態語の比較については声の大きさ、抑揚に留意しながら読む。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ Picture Dictionary も使って、今日考えた、オリジナル絵本の内容を英語で書いてみよう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>“Snow Snow Snow”のように “Let’s ~” や様子を表す英語、気持ちを表す英語などを使おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1年生の読み聞かせ会までのオリジナル絵本“Snow Snow Snow”作りの学習計画の見通しをもつ。 	

本時で活用する資料と本時の様子

○活用した資料



ほんま まゆみ (著)、みち いずみ
(イラスト)、マラ・ベネマン (翻
訳)、ほんま こうすけ (翻訳)

●本時の様子



[本時の板書]

